



大分県立竹田高等学校
関東同窓会報
第33号

発行者 会長 佐藤映士
編集者 委員 長 田部修士
〒190-0002 東京都立川市幸町4-47-29
電話 042-535-3322
FAX 042-535-3322

印刷・データクラフト㈱

春の幹事会協議事項報告

幹事長 用正 靖彦 (S30年卒)



を申し上げます。本日は今年の総会を含め各委員会の活動や役員改選について充分に協議頂き度いと発言があり、更に母校百十周年記念行事についての報告が行われた。

春の定例幹事会が平成十九年三月十三日(火)、長吉相談役も出席され、会長以下役員、学年幹事、当番学年幹事代表の三十一名の出席を得て、アルカディア市ヶ谷で開催された。

既に会員の皆さんには個別に同意会本部より寄付金の依頼が届いていると思えます。今回は卒業年次単位で目標を置いて、竹田の幹事を中心に活動を進めているようです。三月末頃には第一回目の進捗状況が纏められるようですが、現在目標額五千萬圓に対し一千四百萬圓強が集まっているようです。記念式典は母校にて十月五日(金)に実施される予定、詳細が判り次第連絡致しますが、是非とも寄付へ

の協力をお願い致します。
○総会・懇親会について
第二十一回総会・懇親会は41年卒・51年卒の当番学年の皆さんが幹事となって、開催に向けて着々と準備を進めています。

開催日は六月九日(土)、会場はアルカディア市ヶ谷、イベントは和太鼓の演奏、特別食に「だんご汁」やせうまを準備する予定、乞うご期待!! 会員の多数の出席を心からお待ちしています。尚、当番学年幹事を現在の二学年から三学年に増やす提案があり、来年度より実施するにしが満場一致で決議された。

○維持委員状況と寄付決算について
(1)維持会員及び維持会費状況
平成十九年三月三十一日現在の維持会員数は三八一名(四一七口)、前年に比して十八名(二二七口)の減少、維持会費の納入状況は、未納者数百一名(百六口)、金額は九拾八萬五千圓です。維持会費が同窓会運営の根幹を成していることは、承知のことと存じます。会の安定

的運営を維持するためには、維持会員の増強が急務となつてます。何卒事情ご賢察の上、一人でも多くの人が加入されることを切にお願い致します。

(2)平成十八年度会計決算(概算)について
平成十八年度の収支状況は、期の途中ですが、三月十三日現在までの説明が行われ、これに年度末までの収支を加算し、監事の監査を受けた後、総会で承認を得る事とする旨の報告があり、満場一致で承認された。

○役員改選について
本年は役員改選の年にあたり、佐藤会長より現役員は全員が任期満了で辞任、会則に則り新たに役員を選任して頂く旨の発言があり、続いて佐藤会長より新会長として現幹事長と事務局を担当して同意会の状況を知っている「用正靖彦」を推薦、承認された。

私としては、佐藤会長より事前に推薦するので受けるように要請がありましたが、私ごとには無知蒙昧な者が任に就くことは不適当と思ひ固辞致しましたが、再度強く求められ「同僚の西沢氏が全面的にバックアップする」との意見をいただいたので、浅学非才を顧みずお引受けさせていただきますが、自分にも不足者だと思いますので、会員の皆様の格別のお力添えを賜りますよう切にお願い申し上げます。

副会長以下新しい役員に別掲のとおりの方々を推薦いたしましたところ、満場一致で承認されました。
尚、今回選任されます佐藤映之会長には相談役に、神田清、上村マサ子副会長、佐藤毅士広報委員長、工藤敬暢監事には顧問に就任頂くことが満場一致で承認された。
又企画委員長としてご尽力頂き、昨年末に稲竹により辞任された桑高輝茂氏には、長い間お世話になりました。お礼を申し上げます。



春の定例幹事会 平成19年3月13日
相談役・会長・役員・学年幹事 (於アルカディア市ヶ谷)

竹田高等学校関東同窓会役員

平成19年3月

役 職	氏 名	卒業年度	役 職	氏 名	卒業年度
会 長	用正 靖彦	昭和30年	企画委員長	井手 得郎	昭和41年
副 会 長	西 誠	昭和30年	組織委員長	後藤 猛士	昭和41年
	塔尾 恵美子	昭和33年	広報委員長	田部 修士	昭和42年
	津下 渥子	昭和34年	監 事	坂本 勇	昭和28年
	古庄 幸一	昭和40年		桃溪 謙次郎	昭和37年
幹 事 長	松良 修二	昭和34年	事 務 局	菅 紀代巳	昭和34年
副 幹事長	加藤 興史	昭和33年	(名簿担当)	倉本 正博	昭和44年
総務委員長	緒方 義信	昭和38年			

1、懇親会
 「龍虎太鼓」(S41年卒 阿部さんの紹介による越谷龍虎太鼓) ドドーン、ドドーン。打ち鳴らす勇ましい太鼓の響き。体全

1、日時 平成19年6月9日(土) 11:30受付開始
 12:30総会・懇親会
 1、場所 アルカディア市谷 (私学公園)
 千代田区九段北4-2-25
 電話03-3261-9921
 1、会費 8000円
 1、当番幹事 41・51年卒
 1、総会
 ・会務会計報告
 ・監査報告
 ・新役員改選
 ・新年度の方針他
 ・母校創立110周年



竹田市長ほか来賓をお迎えし、ふるさとの話題を語っていただきます。

体が共鳴し、血が燃えたくる感覚が会場一杯に広がります。そんな楽しい気分をみなさん一緒に味わいましょう。
 また、故郷の味懐かしい「だご汁」や「やせうま」料理があなたをお待ちいたします。
 母校から校長先生を迎え、竹田高校の最新情報を語っていただきます。

会場は学年別に椅子を準備。先輩後輩の交流をお楽しみ下さい。

故郷に関する情報
 母校の最新の写真や、竹田市の街の写真、ポスター等、最新の故郷の情報を展示いたしますので、ひとときの閒故郷へタイムスリップしてみてもいいですか？

企画委員長
 井手得郎(昭和41年卒)

「第21回竹田高校・関東同窓会」
 総会と懇親会案内

燃える!!

クラス会・同期会

関東七曜会懇親会

森 勝幸 (S三〇〇年卒)

昨年十月二十四日、観音崎京急ホテルで関東七曜会の懇親会を開催しました。

一昨年は、七曜会全国大会(古希の集い)を別府で開催したため、関東七曜会の懇親会は休み、二年振りの再会となりました。

例年は都内で行っていましたが、たまには雰囲気を変えて都心より少し離れたところではどうかとの意見があり、私も少年少女時代を海に縁深い竹田、大野地方で育つため、海への憧れと郷愁をさそって、あろう三浦半島の観音崎を選びました。

当日は、午前中、小雨と強風でしたが、会員五十八名中遠くは釜石、新潟、長野からも出席があり二十四名の懇親会となりました。予定していた映画「喜びも悲しみも……」の舞台となった観音崎灯台の見物と海岸の散策は、荒天のため、中止せざるを得ませんでした。

懇親会は、はじめに物故者に對し哀悼の意を捧げ、会長挨拶、乾杯と進み、郷里の驚くような近況の紹介等のもと、余興とし

てビンゴゲーム、カラオケと続き、ビンゴの賞品には陶芸家趣味とする会員の「焼きもの」の寄贈があり、自分のカードに見入る会員の姿は真剣そのものでした。

その頃、外は雨もすつかり上がり、近代日本の墓園けとなつた浦賀水運に行き交う船を眺めつつ、当ホテル自慢のフランス料理にワインを味わいながら旧交を温め、会は最高潮に達しました。

予定の三時間は降く間に過ぎ、最後に恒例の硬い円陣を組み、声高らかな校歌斉唱、別れを惜しみながら次の再会を約し解散しました。



関東七曜会懇親会

還暦同窓会を終えて

三九会副会長 秋田 晴子

2006年11月18日、竹田高校39年卒業の還暦同窓会が、地元「ホテル岩城屋」で開催されました。恩師である酒見邦邦先生、吉岡雄三先生、首藤昭夫先生(三名)にご出席を頂き、同級生100名の参加で盛況の内

に終えた布事を役員一同心から感謝致しております。地元で還暦の祝いをするという事で「何か心に残る会にした」と願い役員会を何度か重ねました。そこで還暦記念誌の発行を決めました。三九会には「Thank You」という表紙で記念誌を作成、何となく無事発行できました。完成した時には久しぶりの充実感でした。

同窓会の当日はあいにくの天気で竹田市での最大のイベント「竹葉」の灯火が秋雨に没いていました。しかし同窓会は笑顔、笑顔、笑顔……で埋め尽くされ

ていました。本会は初めに恩師・後藤先生(1名と同級生19名の物故者に黙祷を捧げ「会長挨拶」我々三九会のホープ「市長挨拶」「恩師の言葉」と続き「アトラクション」「校歌斉唱」そして皆が待ち望んでいた「戦い勝てり」の歌声と共にストームで最高に盛り上がりました。まるで一気に18歳にタイムスリップしたかのように思いました。

久しぶりの再会を懐かしみ、高校時代と変わらない様子に驚いたり、すっかり変わってしまった昔の面影を探すのに一生懸命だったりしながら、あららこちらで手を取り合って喜び合う姿がとてもし印象深く目に映りました。その後クラス毎に分かれ二次会・三次会を行い、時が経つのを忘れ話は尽きそうにもありませんでした。

翌日はオアションとしてバスツアーをセットしました。紅葉のまだ残っている竹田を、母校、岡城跡、白水の滝、久住高原……と巡りました。どこを取っても美しく変わらぬ、懐かし風景です。高校時代を思い出しながらゆっくりと散策しまし

た。自然の中で弁当を食べながら次の再会を約束して散会となりました。還暦を迎えてだんだん健康に自信を持ってなくなり、いつまでも元気でというわけにはいきませんが、同窓会で若返り、元気をもらい又竹田の自然に抱かれる事で少しでも人生を楽しめたいと思います。今回は関西での開催という事を希望する声が上がっており、是非、関西で再会しましょう。



祝竹田高校三九会還暦同窓会

竹田高校三九会還暦同窓会

ユー・ガット・メール

昭和四十二年卒 染井 洋

十年程前、同期の中で田町に
来やすい場所に勤務している者
を桑島君(元企画委員長)が呼
び集め、私の行ったつけの居酒屋
に集まるようになった。

慶応大学に向かう通りの喧嘩
から一歩入った裏通りの古民家
をそのまま居酒屋にして、郷愁
をそぐするよう店舗を、親父
の名前をそのまま屋号に、田町
でも知らない人の方が多い料理
自慢の隠れ家的飲み屋。

最初は、四人でスタートした
呑み会が、回を重ねる毎に、
「あいつはどうしようか」「新し
い度声を掛けてみようか」「新し
い参加者がまた新しい情報と参加
者を連れてきて、ねずみ算式に
参加者が増え、現在常連会員十
四名。増えすぎないよう同期限
定で会員募集中。

定期的に、呑み会を続けてい
たある日、メンバーの一人のこ
母堂が亡くなった。竹田で行わ
れる葬儀には勤務の都合で出席
できないが、忌意を表したい。
残ったメンバーで相談し、生花
を送ることにしたが、名前を連
名にすると小さすぎるし、見ば
えも悪い。代表者では面白くない
屋の名前。念のため地名も付け
て「東京湯浅会。名前を見た
表主は、すぐ判ったようで、以

来この会合を「湯浅会」と呼ぶ
ようになった。

近くにある私の勤務先で湯浅
会の話をするに、驚かれるこ
とが二つある。

一つは、集まる人数の多さ。

我々昭和二十三、四年生まれは
団塊の世代の中核で、高校は五
十五人クラスが十組と、圧倒的
に人数が多い世代ではあるが、
九州の小さな城下町の出身者
が、小さな居酒屋にメール一本
で、両手に余る人が集まってく
る。世間から見ると異常かも。
二つめは、頻度。毎月やろう
という声もあるが、現在は、は
やる心を抑えて二ヶ月に一回ベ
ース。普通同窓会は年に一回で
しようといわれるが、どうもし
よう。故郷の話はつきないも
んね。

最近出席者のエリアが広が
って、今日日本のどこどこかで
「×月の湯浅会案内」というメ
ールを待っている人がいる。



湯浅会

維持会費納入状況

1 維持会員の状況(平成19年3月末現在)

区分	184.1現在	加入	退会	現在	増減
会員数	399	28	46	381	▲18
口数	444	28	55	417	▲27

2 維持会費の未納状況(平成19年3月末現在)

区分	未納者数	口数	未納額
3年連続	31名	32口	480千円
2年連続	25	27	270
1年連続	45	47	235
合計	101	106	985

3 維持会費収入及び翌年度繰越金の推移(千円)

	15年度	16年度	17年度	18年度
会費収入	1,935	1,863	1,841	1,758
翌年繰越金	2,184	1,928	1,683	1,216

維持会員へ加入のお願い

関東同窓会は、維持会員の

てまいりました。

皆様の深いご理解とご協力に
支えられて会運営が行われて
きたところであり、しかし
し、会費収入が若干減少傾向
にあり、活動資金も底をつい

てまいりました。
そこで、大勢の皆様には非
維持会員(二口五千円)に加
入していただき、会運営にご
支援賜りますようお願い申し
上げます。

*維持会費長期未納の方に
おかれましては、一部納入で
も結構ですので納入方よろし
くお願い申し上げます。
(総務委員長)

大分県立竹田高等学校 百十周年に寄せて



会長 後藤 宗昭

国内の外ではこの活躍の同窓会員の皆様、平成十九年新春のお喜びを申し上げます。

本年は明治三十年の本校創立以来百十周年を迎えることになりました。遠くは創立十周年で、修道学林会による学校林の立ち上げ、近いところでは、九十周年、百周年の夫々の事業で、修道会館の設立、生徒の海外派遣の実施等と、そのための募金がその都度行われて来ています。

これまでの募金は勿論のこと知恵と力と汗を流してこられた諸先輩の皆さんにあらためて敬意を表します。

この度、百十周年に当り、昨年九月同窓会・修道学林会・PTA・学校当局の四者が一発協力をして新しい県立竹田高校の発足を願う別記のような記念事業を計画致しました。

早速、昨年十一月一日より、同窓会員には趣意書と募金を含めてご協力をご案内してきましたが、本年(平成十九年)一月までに、山の同窓会会員から賛助金(募金)のご協力をいただき、更に引き続き続々と入金いただいておりますので、紙上から改めて敬意とお礼を

申し上げます。

募金受付は平成十九年度一杯をおこなっています。引き続きご協力を願ひ致します。

記念事業六項目の具体的展開はこれからでございます。現在冷暖房施設の整備委員会を設け具体的取り組みを致しております。今後

①地方紙への学校と同窓生の紹介
②同窓会文庫へのご協力
③記念式典の成功
④出来るだけ経済的運営で残高は生徒の海外研修に回すようにしたいと考えています。

お願ひ致しました百人実行委員の皆様を中心に、会員のお知恵をお貸しください。

記念式典は十月五日を予定しています。当番クラスの代表を通じて計画を進めていますが、未定ある生徒のため第一に考え、更に、同窓会員の親睦と情報交換、Eメールの交換等を具体化したと考えています。

お寄せいただいている淨財は関係者と協議しながら有効に活用し百十周年を盛り上げて行かばなりません。

百十周年記念事業の後継をいずれ記念誌にまとめ、後世に語り伝えてゆきたいと考えています。

帰らじとかねて思えば
あすこ
なき数にいる名をぞ
とこむる

同窓会員の皆様のご健康と母校の発展を念じてご挨拶といたします。

大分県立竹田高等学校創立110周年記念事業実行委員会

◎記念事業の内容

- ①冷暖房施設 ②記念誌の発行 ③生徒海外派遣事業 ④地方紙への学校紹介事業 ⑤同窓会文庫の設置 ⑥記念式典

◎実行委員会(100人委員会)の構成

- 代表世話人…竹田高等学校校長 大塚 守 同窓会長 後藤 宗昭
学林会会長 鷲 司 慶雄 PTA会長 小 出 明 弘
会計監査…同窓会代表 後藤 真 志 学林会代表 廣 瀬 睦 照
PTA代表 池 内 晴 一 (各組織の監査委員から1名)

賛助会員募集…同窓会員・客員以外の110周年記念事業の趣旨に賛同される者

式典の期日：平成19年10月5日(金) 10時～12時 場所：竹田高校体育館

総会ならびに祝賀会13時～15時(場所未定)

同窓会文庫世話人(責任者：鎌田和子) 同窓会文庫案内。

県立竹田高校創立110周年記念同窓会文庫設置要項

平成18年9月29日提案

- 1 大分県立竹田高校設立110周年を記念して同窓会文庫を設立する。
- 2 文庫は大分県立竹田高等学校に設置して在校生等の閲覧に供する。
- 3 作品は同窓会員(客員を含む)の自作で、1作品2冊以内を寄付するものとする。作品名、筆者、寄付者の住所・氏名・連絡場所などを付して、送料など本人負担で県立竹田高等学校宛に送付して下さい。なお、故人の作品については遺族代表からの寄付も受け付ける。
- 4 作品は、論文・随筆・歌集・小説・ノンフィクション・漫画・など内容は問わないが、教育上の配慮については学校側に一任する。
- 5 その他作品に関する著作権以外のことについては、運営管理を学校側に一任する。著作権については、学校・同窓会は一切責任を持たないものとする。
- 6 受付は本校創立110周年にあたる平成19年4月1日からとする。

高校への寄付

◆40年卒還暦記念同窓会 295,450円 ◆51年卒卒業30周年記念同窓会 300,000円 多大なご寄付に御礼申し上げます。

H18年 竹田会総会

田部 修士(S42年卒)



平成18年11月24日午後6時より、私学会館・アルカディア市谷において竹田会が開催された。初めに元毎日新聞社副社長で20年竹田高校卒の徳九大異様初め今年亡くなった物故者の方々への黙祷が捧げられた。

里見会長より、「最近何かと竹田市のニュースを目にする機会が増え、おそろしく記事に一喜一憂しています。週刊誌で住みやすい街、全国1位にランクされた」と挨拶された。

来賓として、全国最長輪の異業議長・和田先生より「竹田が伝統的文化都市として発展させていきたい。私にも皆さんから85、86歳は高齢ではない頑張れ」と声援を頂いている。地元竹田への暖かい励ましを感謝します」と挨拶があった。挨拶より、牧市長より、「新生竹田市の1周年記念行事として久住でTAOの演奏と火花大

会を行ったが、身動きが取れない程の人に集っていただいた。岡城の復元をCGでするとのこと決まった。楽しみにしていたいただきたい。竹田の良い報告の一つとして今年赤ちゃんの誕生を130人として今年中佐に於いて「竹田の山々が待の人格を作ったのでいいかと思う。ロシアは廣瀬中佐をどうしようにみていたのか。007としてロシアに入る前ペリリンからマ佐が住んでいた。ロシアで廣瀬中佐を探して4日間という一度思っています。竹田は是非訪れてみたい」と思っていた。竹田は是非訪れてみたいと思つていて、挨拶があった。また、山梨学院大学教授のサルキソフ先生は「日本とロシアの戦争は回避されたのではないかと。当時の外交に失敗があった。この曲調を政治家に教えていかなばならない。若い学生が廣瀬中佐を知らない歴史を知らない。日本人は気が付いていないが美しくすばらしい国です。私もまだ竹田に行っていないので是非いつか訪ねて見たいと思う。」

佐藤岡東同窓会会長のご発声で一同乾杯し、聖親会に入つた。食卓と懇談で会はいつもに増して盛り上がった。お待ちかねの芹津子さん(前名譽久住町民で佐藤同窓会長のご紹介による)は7時半過ぎに会場へ到着されたが、メインステージの登場で会場は大いに盛り上がった。「来年ははうがくるへのツアーを企画したい。また竹田も是非行きたい」とのスピーチがあり、四季の歌、はうがくる賛歌の熱唱で会場は最高潮に達した。最後に新制竹田市の名誉市民として牧市長、和田異業議長、里見会長、長吉理事其の他多くの来賓と苑城の月夜を合唱して会の幕を閉じた。神田同窓会副会長の締めめの後、参加者の面々は名残を惜しむ会場に残り、芹津子さんと記念の撮影も延々と続いていた。

追記、芹津子歌謡ショー'07

5/12坊ガール

5/13竹田市文化会館

H18年度・竹田会

同窓会連絡会

田部 修士(S42年卒)

平成18年の竹田会に先立て午後3時より竹田市からの来賓を交えて、日本バカライオンズ・会議室にて同窓会、竹田会の連絡会が開催された。

牧市長、甲斐商工会議所会頭、後藤同窓会会長、大塚校長、平野さん、山口さん、黒木さん、後藤眞志さん、板井商店連合会会長、以下、ご出席の役員のご発言を報告します。

後藤同窓会会長「11周年竹田高校の110周年記念事業の協力を依頼。100人委員会を設け全国の

会員に働きかけていく。記念式典は19年10月5日の予定。目標募金は5000万円。

①教室の冷暖房設備(2200万円)

②生徒の海外派遣(1500万円)

③地方紙への掲載(200万円)

④記念式典、その他

牧市長「20年国体で竹田市はラッパ、ソフボール、山岳(ポルタリオン)を主電

普協会長「直入を加えて観光ツーリズム協会を設立して

甲斐士会「地域活性化として阿蘇市、豊田地区の連携で新ブランドを作っていく。九州中々広域ブランド第一回目を盛大に開催した。今後観光を重視し、阿蘇、祖母、久住をまとめて世界遺産にしたい。昔の光を取戻すべく岡城の竹林を伐採し、5002号線から見開けた岡城の景色を復活しよう。廣瀬神社との関係では、1000年忌祭の納めとして9月に旅順へ行く。

板井商店連合会会長「地元の商品を大事にしていきたい。果嶋、松江の町を参考にし景観整備を進め、キレイな街にした。家庭用廃油の再生を始めた。環境、高齢者にやさしい街づくりを進めて行く。

秋元さん「日曜日に観光客にも乗車さんと旅行者の必要なお店はどこが聞いているかが分かるようにして欲しい。

工藤さん「国際的に考えて東南アジアや欧米から人がやってくるように考えてみたかどうか。里見会長に観光大使をお願いする」と

佐藤会長「岡東同窓会の登録会員は現在2000名で、総会には約200名が集まっている。110周年記念事業の趣旨は全員に直接送付したくようになっている。今後全員にその趣旨が行き届くように頑張っていく。

昔は竹田市の吸引力が強かったが、直入も一本化し各地の特色を生かして相乗効果が得られるようになっている。各地で問題になっているシャッター街が如何に生きて残ったか真剣に考える必要がある。

今回の竹田のPRをしたくて、塔として竹田のPRをしたくて

神田さん「110周年事業の募金活動を要領よく進める。目標金額など期別に細かく設定し、学生単位で集めるようにしたらよい。

山口さん「一橋大の学生から島田理一先生のことを聞かれた。『何故廣瀬武夫を書かれたのか知りた。』ドイツ館への要望、宛城の月と併せてドイツの歌を流して欲しい。

ドイツの旅(11月16日放送「竹田市観光課長が行く」)のDVDを試写。

会員特別寄稿

鎮魂—十九才の少年飛行兵

竹田駅上空でB-29に体当たり

安東 和彦 (S25年卒)



故 粕谷欣三 海軍一等飛行兵曹

それは昭和二十年五月五日のよく晴れた朝のことであった。私は竹田中学の二年生、当時竹田では軍隊式に、二年三組は第二区隊第三小队、先生は教官、級長は取締生徒とっていた。その頃、戦火は日本本土にも及び、マリアナから飛来するB-29という四発の巨大な爆撃機の大編隊が、攻撃目標の北九州工業地帯への往復の途中、竹田の近くを通過することも度々あった。

戦局の悪化と共に、学校も授業より学徒動員で上級生は全員刈田に行っていて留守、残された一、二年生も千歳村の飛行場建設のために動員となり、その朝はその後発隊(後進)が竹田駅前に集合、出発の汽車を待つ間、四列縦隊に整列して教官の訓示を受けていた。その時突然、頭上でバリバリと雷のような大きな音がした。びびりして上空を見上げると、一機のB-29の巨体が低空で駅の裏の崖の上から突然現れた。そしてそのすぐ後に日本の小さな戦闘機が一機ビタリと食いついていった。そのB-29はすぐ急旋回すると、再びその崖の向うに姿を消したが、その直前、日本の戦闘機がB-29の主翼の付根の辺りに体当たりし、主翼が折れ曲がったように見えた。それは文字通りほんの一瞬、アツという間の出来事であった。あのB-29は墜落するなと思った時、もう一機の戦闘機が崖の上から姿を現わして上空をゆつくり旋回すると、又同じよう

に崖の向うに姿を消した。あたかも僚機の安否を気遣い、また敵機の墜落を確認しているかのようであった。

このB-29は駅から遠くない明治村の小中尾という所に落ちた。見に行くと火達も多く、拾って来た機関銃弾や風防ガラスの破片などを見せてくれた。この墜落現場は今では広場になっており、「殉空之碑」という碑が建っている。

級友と再会した時などこのB-29のことはよく話題になった。しかしながら、もう一方の体当たりの日本の戦闘機はどうだったのか、どこに墜ちたのか。それが話題になったことはなかった。

所が数年前、たまたま竹田市立歴史資料館の館長の平尾さんから、その戦闘機の墜落した場所と、そこにも碑のあることを聞いた。そしてその機の乗員は私が今住んでいる埼玉県出身の少年飛行兵だったという。平尾さんはわざわざ私をその碑の前まで案内してくれた。

その場所はB-29の墜ちた所から西に遠く離れた、現在では竹田市になっているが、宮城村久保の西園という所であった。碑は人家を離れた木立の中の路傍にひっそりと立っていた。大きな自然石に「鎮魂碑」と刻まれていて、その前に碑文と花

立ててがあり、菊の花が供えられていた。その道からは木立を透して遙か下の方に宮ヶ瀬川の白く細い清流が見え、その両側にへばりつくように、田圃が細長く連なっているのが見えた。碑文によれば、体当たりののは当時の日本海軍最新鋭の戦闘機「紫電改」で、操縦していたのは大村海軍航空隊所属の粕谷欣三海軍一等飛行兵曹、埼玉県入間郡三ヶ島村(現在は所沢市)出身の、何と弱冠十九才の少年飛行兵だったのである。乗機はその谷底の田圃の中に落ちた。人々が駆けつけた時、粕谷飛行兵はまだ息があつて、田圃の畦に腰掛けるようにうずくまっていたという。すぐ村の公民館に運ばれて介抱したが、間もなく息を引き取ったという。



碑の前には今も花が絶えない



鎮魂碑—竹田市久保西園

これを読んだ時、私は思わず目頭が熱くなった。そして目撃したあの体当たりの瞬間がくつきりと眼前に再現した。十九才の少年がたった一人前にして体当りを決断した時、一体何を思ったのであろうか。どういう気持で突込んだのであろうか。その心情を思うと誠に哀れで涙を禁じ得なかった。そして殉死の粕谷少年を介抱し、その死を取看った村人の心情を思った。木立の中の路傍にひっそりと立っているこの碑の前には今も花が絶えないという。(完)

訃報

慎んでお知らせ申し上げ、心からご冥福をお祈り致します。

物故者御芳名

後藤 訓生様(昭33年卒)
 平成18年1月13日 没
 平田 豊年様(昭30年卒)
 平成18年2月4日 没
 松村 耕三様(昭28年卒)
 平成18年6月 日 没
 原部 利根様(昭16年卒)
 平成18年9月18日 没
 西田 久夫様(昭15年卒)
 平成18年10月23日 没
 ※何らかの方法により、事務局へ連絡を頂いた方々を掲載しております。

未来の素材に

Superface

日本バーカライジング株式会社

〒103-0027 東京都中央区日本橋1-15-1 TEL. 03(32)76-4257

会員の皆様へお知らせ

竹田市の主な行事

5月3日(木) 祖母山開き
 5月27日(土) 広瀬神社例大祭
 7月21日(土) 竹田夏越祭
 5/22日(日) 長湯温泉まつり
 7月下旬 竹田夏物語 七夕 竹風鈴
 8月4日(土) 瀬原太郎生誕128年祭・演奏会
 8月24日(金) 久住高原祭り(名称・場所は仮とする)
 9月30日(日) 第24回竹田新能
 10月6日(土) 第59回瀬原太郎を偲ぶ音楽祭
 11月1日(木) 第8回たけた竹灯籠 竹葉(ちくらく)
 11月16日(金) 5/18日(日)

「竹高26会」開催のご案内

1、日時 平成19年10月4日(木)
 午後5時～7時30分
 2、場所 竹田市直入町長湯 大丸旅館
 3、その他返信は遅くとも3月1日まで
 幹事代表 後藤 和芳

TEL 0974-63-3679

詩歌・文芸

河野 祐司 (昭16年卒)

裏山の急にかすむや夕時雨
 飾りたる雉も妻も共に喜寿
 雁形の序列敷く雁渡る

風雪の八十路を共に古雛
 春の海動くともなき遠き船



後藤 紀子 (昭28年卒)

東慶寺岩かじけ居り幻に岩た
 ばこの花の白紅を置く

東慶寺の墓群の中に寂然たり
 一高塚の秋の青苔

朝顔の花に宿れる露光る懐し
 きもののかなくもあり

あとがき

※「投稿」をお待ちしています。
 この会報は会員皆様方の情報交換の場として編集しています。関東同窓会会員の方々の投稿を期待していますがその数が少なく苦労しています。お互いの交流の場としてぜひお活用下さい。 委員一同

・投稿内容

- ① クラス会情報
- ② 故郷の便り
- ③ 海外便り
- ④ 会員の語らい
- ⑤ 詩歌・文芸
- ⑥ 会員の催し
- ⑦ 会員消息
- ⑧ その他

・連絡先

〒103-0027
 東京都中央区日本橋1-15-1
 日本バーカライジング(株)
 田部 修士 宛
 (広報委員長)
 TEL 03-3276-4307
 FAX 03-3276-4309

